

プラスチック油化装置

株式会社伸光テクノス（愛知県一宮市）

概要

- ・プラスチック及び原油由来品を熱分解し、液体燃料、可燃性ガス、炭化物を生成する装置。
- ・触媒を使用することで、タール分の少ない品質のよい軽質油・重質油の生成が可能。

特徴

1. バッチ式処理のため、プラスチックに限らず、廃プラスチック・廃タイヤ・廃漁網・医療性廃棄物の処理や携帯電話から貴金属を回収する前処理まで、多目的に利用可能。
2. 塩素系有害物質・ハロゲン系有害物質の処理にも対応。
3. 処理物にあわせて、最適な触媒を採用することで、タール分の少ない油の生成が可能。
4. 低燃費の装置であり、かつ、生成した液体燃料を熱源として使用するため、ランニングコストを非常に低く抑えることが可能。
5. 二段階のガス冷却方式の採用により、軽質油と重質油を分けて回収が可能。
6. 緊急自動停止システム・強制冷却システム・オフガス燃焼システムの導入により、高い安全性を実現。



油化装置 BP-5000N

導入実績



産業廃棄物処理業者
(福井県)



環境事業者
(滋賀県)



資源回収業者
(山形県)

効果

弊社油化装置での油化実験結果

材 料 名	生成回収率%		
	生成油	ガス	残渣
タイヤ	38.0	12.0	50.0
ナイロンパック(PP, PE)	77.3	20.5	2.2
PSペレット	77.5	17.4	5.1
安全ネット(PP)	77.5	21.8	0.7
電線皮(PE+EVA)	75.8	17.3	6.9
混合プラスチック(PP, PS, PE)	81.1	18.0	0.9
魚箱(発泡PS)	83.1	9.5	7.4
廃トナー(コピー用)	49.9	12.8	37.3

生成油：重質油、軽質油

ガス：可燃性ガス

油化装置のバーナー用燃料に使用可能

残渣：炭化物、金属、レアメタル等

※材料の種類、状態により、油化率、油の品質等は大幅に変動します。

技術の高度化

- ・生成油(重質油、軽質油)、生成ガスを利用し、発電等も可能である。
- ・触媒の活性反応を利用することで、生成油の炭素数を条件的にコントロール可能。
- ・タイオキシンの発生がない。

販路開拓の取組

- ・複数の大学との共同研究、国内外学会での発表。
- ・ホームページの利用。
- ・国内展示会(環境展)、国外展示会(中国国際工業博覧会)への出展。

企業概要

代表者：代表取締役社長 木村 護
資本金：3,000万円 従業員数 20名
主な製品等：プラスチック油化装置、加水分解装置
U R L：http://www.shinko-mfg.co.jp

連絡先

常務取締役 長澤健太郎
所在地：愛知県一宮市真清田一丁目1-20
T E L：0586-28-9461
E - m a i l：info@shinko-mfg.co.jp